

2013 年 通訳案内士

外国語筆記試験 (英語) 解答例

問題 1

全訳

この顕在的な (overt culture) 文化に対して、目には見えにくい、それだけになかなか気がつかない文化の側面のことを「隠れた文化」(covert culture) と呼ぶ。食器の例で言えば、現在では日本人も、スプーンやフォークなど、かなり使い慣れて、殊に若い人などは、箸と同様に自由に使うことができる。ところがよく観察すると、⑤彼らがこれらの食器を使うときの使い方は、西洋人の使い方と微妙に異なるのである。たとえば日本人は、スプーンでスープを飲むとき、スプーンを顔と平行になるような角度で、口に持って行く。そこで必然的にスプーンの横に口をつけて飲む形になる。しかも吸い込むようにして、液体を口に入れる。「吸い物」の伝統が残るのである。

ところが西洋人は、どちらかと言えば、スプーンを顔と直角になるように近づけ、スプーン先端から飲む。そのとき、吸うのではなく流し込むようにするため、スプーン先端が、口の中に相当入り込むことになる。そのほか、姿勢が違うとか、皿と口とスプーンとの距離の違いとか、細かにそのつもりで観察すると、まだまだ相違はある。

このように、文化の項目としては全く同一のものを使いながら、日本人と西洋人との間には、ちょっと人が気付かない構造的な違いが見られる。文化というものは、このような、当の本人が自覚していない、無数の細かい習慣の形式から成立しているようなものであって、この、隠れた (covert) 部分に気付くことこそ、異文化理解の鍵であると言えよう。

(鈴木孝夫 『ことばと文化』より一部改編)

1-1 (3点) 難易度：普

正解：⑤ overt-covert-covert

1-2 (3点) 難易度：易

正解：③ tools

1-3 (5点) 難易度：難

正解

欄	—	3	—	—	—	—	—	—	4	5	—	—
順	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
肢	④	⑦	⑩	⑫	②	⑧	⑥	⑨	③	⑤	⑪	①
英	their	use	of	these	utensils	is	slightly	different	from	that	of	Occidentals
訳	彼ら日本人がこれらの食器を使うときの使い方は、西洋人の使い方と微妙に異なる											

1-4 (3点) 難易度：易

正解：② on the other hand—instead of—in addition to—even though

1-5 (6点) 難易度：易

正解：③通常は気づかない、文化ごとに異なる細やかな慣習的行動パターンに意識を向けること

問題 2

全訳

神道において、①神の概念は、②祖霊信仰だけでなく、山、滝、石などの自然自体、そして雷や台風などの自然現象の各側面に見受けられる。このような信仰の形は、一般的にアニミズムという形として知られており、世界の他の地でもよく見られる。③日本にとって重要なのは、神道にはユダヤ・キリスト教の伝統に見られるような「神の言葉と掟」というような唯一絶対的な価値観がないことから、日本に流入してきた新たな価値体系と共存できている、という事実である。

(Roger J Davies and Osamu Ikeno (Eds), *The Japanese Mind*.)

2-1 (各2点×2=4点) 難易度：易

正解

解答欄	8	9
下線部	(1) deity	(2) the worship of ancestors
正解	⑥神	②祖霊信仰

2-2 (5点) 難易度：難

欄	—	1 0	—	—	1 1	—	—	—	1 2	—	
肢	③	⑦	②	⑥	①	⑧	④	⑨	⑤	⑩	
英	of	importance	for	Japan	is	the	that	Shinto	contains	no	absolute
訳	日本にとって重要なのは、神道には唯一絶対的な（価値観）がない、という事実である										

2-3 (6点) 難易度：易

正解：③

問題 3

解答欄	1 4	1 5	1 6	1 7
問	(1)網棚	(2)絵文字	(3)旅程表	(4)地図帳
正解	⑥ overhead rack	⑨ pictogram	⑫ itinerary	⑦ atlas

解答欄	1 8	1 9	2 0	2 1
問	(5)太陽電池	(6)堀	(7) (鶺鴒の) 鶺鴒	(8)かがり火
正解	① photovoltaic cell	⑮ moat	⑬ cormorant	⑧ bonfire

解答欄	2 2	2 3	2 4	2 5
問	(9)幕府	(10) (鳥の) サギ	(11)柿	(12)特需
正解	⑳ shogunate	⑪ heron	⑤ persimmon	③ special procurement

解答欄	2 6	2 7	2 8
問	(13)気象予報士	(14)地上波	(15)香 (こう)
正解	⑩ certified meteorologist	④ terrestrial signal	⑭ incense

問題 4

全訳

①日本社会は本質的に権威主義的性格を持ち、支配者は被支配者に対してまるで神のごとくに振る舞うものだったので、一般人は、権威者から何らかの甘心を買ったり便宜を図ってもらったりしたい場合、あるいは単に彼らとの良好な関係を損なわないようにしたい場合には、彼らに対して贈り物をするのが習慣となったのである。②権威者の地位が高ければ高いほど、贈り物をするのはより重要となり、その贈り物の選択、包装、贈答方式の作法はよりやかましくなるのである。

(Boyé Lafayette De Mente. *Japan's Cultural Code Words*. より一部改編)

4-1 (7点) 難易度：普

問題文：(1) Because Japanese society was authoritarian in nature, with rulers exercising godlike power over their subjects, it became customary for people to give gifts to those in authority

解答例：日本社会は本質的に権威主義的性格を持ち、支配者は被支配者に対してまるで神のごとくに振る舞うものだったので、一般人は、彼らに対して贈り物をするのが習慣となったのである。

4-2 (8点) 難易度：普

問題文：(2) The higher the authority figures, the more important it was to give them gifts, and the more protocol there was in selecting, wrapping, and presenting the gifts.

解答例：権威者の地位が高ければ高いほど、贈り物をするにはより重要となり、その贈り物の選択、包装、贈答方式の作法はよりやかましくなるのである。

問題 5 (15点)

(1) 難易度：易

問題文： 2012年に開業した東京スカイツリーは、地上634メートルの高さにそびえたっている。東京タワーは333メートルであるため、およそ2倍の高さである。(7点)

解答例： Tokyo Skytree, which opened in 2012, rises 634 meters above the ground. It is about twice as tall as Tokyo Tower, which stands 333 meters high.

(2) 難易度：普

問題文： 修学旅行は、生徒が視野を広げ、学習した知識を実際の社会経験と結び付けるまたとない機会である。同時に、生徒同士の団結力を養うという意味合いも含まれている。最近では、修学旅行で海外に行く学校が増えている。(8点)

解答例： A *shugaku-ryoko*, or a school excursion, is a great opportunity for students to expand their perspective and apply their knowledge to actual social experiences. It also helps students nurture the spirit of teamwork. These days, an increasing number of schools are taking overseas excursions.

問題 6 (各10点×2=20点)

(1)お年玉

Otoshidama is money given to children during the New Year. *Otoshidama* serve as “children’s bonuses” supplementing their allowance. Some children even expect *otoshidama* from people outside of the family, causing a big headache to those who want to pay courteously visits, not money during the New Year. (47 words)

(2)風呂敷

A *furoshiki* is a traditional Japanese wrapping cloth. *Furoshiki* come in various sizes, designs, materials and prices. *Furoshiki* are one of the most recommended souvenirs in Japan because of the wide range of choices available. (35 words)

解説資料—記述式問題の正体

テーマ

英文和訳や英作文など「絶対解が存在しない問題」の場合、どのような仕組で点がつくのかを知っておきましょう。

英文和訳問題

問題 4.

①Because Japanese society was authoritarian in nature, with rulers exercising godlike power over their subjects, it became customary for people to give gifts to those in authority when they wanted favors or help of any kind, or just to stay on good terms with them. ②The higher the authority figures, the more important it was to give them gifts, and the more protocol there was in selecting, wrapping, and presenting the gifts.

4-1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。(7点)

模範解答例

日本社会は本質的に権威主義的性格を持ち、支配者は被支配者に対してまるで神のごとくに振る舞うものだったので、一般人は支配者に対して贈り物をするのが習慣となったのである。

採点基準 (各項目 1点)

①Because Japanese society was authoritarian (1点)

- (a)この節が理由を表していることがわかっていないものは不可。
(b) authoritarian の訳は「権威主義的」が正しいが、「権力的」「独裁的」も減点しない。
カタカナの「オーソリティー」は不可。

②in nature, (1点)

- (a)「性質」「性格」などという訳がよいが、単に「権威主義的である」でもよい。「本来」とか「本質的に」という言葉が付いているものもよい。「自然」という訳は不可。

③with rulers exercising godlike power (1点)

- (a)この with は「付帯状況説明の with」と説明されるが、訳し方としては広く認める。たとえば「そこにおいては支配者が神のごとくに振る舞う」のように「そこにおいては」と補ったものも OK。あるいは解答例のように「単に並列的」に情報を提示したものもよい。また「支配者は被支配者に対してまるで神のごとくに振る舞う権威主義的社会」

のように、形容詞的に訳したのも可。

(b) “rulers”は、意味が分かっているならば、訳語は広く認める。たとえば「権力者」とか「権威者」も、これは“rulers”が“those in authority”と同じものを指していることをわかっているとされるので OK。場合によっては「偉い人」とか「上位者」でも構わない。

④over their subjects, (1点)

(a) “subjects”は意味が分かっているならば訳語は広く認める。これは、“people”と同じものを指しているから、「人々」「一般人」「普通の人」「下位者」などでもよい。

⑤it became customary for people to give gifts (1点)

(a) it is 形容詞+for+人+to 不定詞の形が捉えられていることが必要。“for”は特に「～にとって」と訳してなくても、「人」が「to 不定詞する」という主語と動詞の関係がわかっているとされる訳なら OK。

(b) “customary”の訳は「習慣的」「慣習だ」「普通のことになった」など、意味が分かっているならば広く認める。

⑥to those in authority (1点)

(a) “those”が「人」であることがわかっていないものは不可。たとえば「それらの権威者」という訳は“those”が「(関係詞節のような) 人」という代名詞であることを理解しておらず、「あれらの、それらの」という指示形容詞と誤解していると思われるので、不可とする。

⑦全体点 (1点)

(a)たとえば、Because S'+V'+C', S+V+C という構文が捉えられているかなど。

採点例

なぜなら、日本社会は自然とオーソリティー的であり、支配者は彼らの対象の上に神のような力を使うので、人々にとってそれらのオーソリティーに対して贈り物をするのは、習慣的となった。

⇒②③⑤で得点が認められるので、3点。

4-2 下線部(2)を日本語に訳しなさい。(8点)

模範解答例

権威者の地位が高ければ高いほど、贈り物をすることはより重要となり、その贈り物の選択、包装、贈答方式のしきたりはよりやかましくなるのである。

採点基準

①The higher the authority figures, (2点)

(a)おなじみの「the＋比較級」であるから、「～であればあるほど」という意味に訳せていなければならない。

(b) “figures”が「人物」という意味の名詞であることがわかっていないと思われるものは、1点減点。

②the more important it was to give them gifts, (2点)

(a) 「the＋比較級」のとおり「より～だ」という訳、またはそれに準ずるものなら可。

(b) 構文的には、“it”が“to give”を指している。訳としては「贈り物をするのがより重要」またはそれに準ずるものであれば可。

③and the more protocol there was (2点)

(a) “protocol”の訳は、カタカナでは1点減点。「様式」「作法」「しきたり」「儀礼」「形式」「方式」など、意味の通る訳であれば広く認める。

(b) 「the＋比較級, the＋比較級＋SV」の下線の部分であることがわかっていないものは不可。

④in selecting, wrapping, and presenting the gifts (2点)

(a) 最初の“in”は「～ing するにおいて」という意味であることが分かっていないと思われるものは不可。

(b) “selecting, wrapping, and presenting”の訳語は広く認めるが、原語が3語なので、訳語も3語で表すこと。足りない場合は1点減点。

採点例

権威がより高く数えれば数えるほど、彼らに贈り物をするのはより重要となり、より多くのプロトコルがあればあるほど、選択、包装、プレゼントがある。

⇒①で1点、②で2点獲得で、合計3点。

和文英訳問題

問題 5

(1) 2012年に開業した東京スカイツリーは、地上634メートルの高さにそびえたっている。東京タワーは333メートルであるため、およそ2倍の高さである。(7点)

模範解答例

Tokyo Skytree, which opened in 2012, rises 634 meters above the ground. It is about twice as tall as Tokyo Tower, which stands 333 meters high.

採点基準

- ①2012年に開業した東京スカイツリーは、(1点)
- (a)固有名詞の「東京スカイツリー」の表記が間違っている場合でも、減点しない。たとえば“The Tokyo Sky Tree”などでも点を与える。
 - (b)「開業した」は“started operation” “opened to public” “began operating”など、広く認める。“began its business”なども認める。ちなみに“businesses”としてしまったら、これは「会社」の意味であり、明確な誤りなので不可である。
- ②地上634メートルの高さにそびえたっている。(2点)
- (a)「地上」「そびえる」について特別な訳をせず、ごく単純に“Tokyo Skytree is 634 meters high.”でも満点を与える。“high”は“tall”でもよい。“Tokyo Skytree is 634 meters.”のように“high”も“tall”もない場合は1点減点。
- ③東京タワーは333メートルであるため、(1点)
- (a)「高さ」の表現は既出のように、“Tokyo Tower is (rises, stands) 333 meters high (tall).”のように、いろいろありうる。どれでもよい。
 - (b)「ため」は“since” “because”などと訳してもテスト的には減点にはならないが「634は333の約2倍」ということを「主張+理由」という論理表現で強調するのは、ちょっとセンスが悪い。解答例のように関係代名詞非限定用法を使って「付加情報」として示しておくのが一番よさそう。あるいはまったく訳さないのも一法であるので、それにも点を与える。
- ④およそ2倍の高さである。(2点)
- (a)“twice”を用いた倍数表現以外は不可。
 - (b)「およそ」は訳していなくても減点しない。
- ⑤全体点(1点)
- (a)明らかな文法ミスは減点。
 - (b)スペリングミスは減点しない。

採点例

Tokyo skytree was opened to public in 2012. It is 634 meters tall. Tokyo Tower is 333 meters tall. So, skytree is twice as high as Tokyo tower.

⇒単純な英文だが、要求された情報がすべて訳出され、文法ミスもないので、7点(満点)。

(2)修学旅行は、生徒が視野を広げ、学習した知識を実際の社会経験と結び付けるまたとない機会である。同時に、生徒同士の団結力を養うという意味合いも含んでいる。最近では、

修学旅行で海外に行く学校が増えている。(8 点)

模範解答例

A *shugaku-ryoko*, or a school excursion, is a great opportunity for students to expand their perspective and apply their knowledge to actual social experiences. It also helps students nurture the spirit of teamwork. These days, an increasing number of schools are taking overseas excursions.

採点基準

①修学旅行は、生徒が視野を広げ、(1 点)

(a)「修学旅行」は“school excursion”以外に“school trip”も OK。ローマ字のみの訳出は不可。

(b)「視野を広げ」は“broaden their views (horizons)”なども可とする。

②学習した知識を実際の社会経験と結び付ける (2 点)

(a)「学習した知識」は“acquired”とか“learned”とかがなく、単に“knowledge”でも OK。

(b)「実際の社会経験と結び付ける」は難しいので、意味が通るものであれば訳語は広く認める。たとえば“to learn how to put their knowledge into practice”などとパラフレーズした訳も可とする。

③またとない機会である。(1 点)

(a)「またとない」は何らかの強調語が用いてあれば、広く認める。「機会」は“chance”でもよい。

④同時に、生徒同士の団結力を養うという意味合いも含んでいる。(2 点)

(a)「同時に～も」には特に訳出がなくても減点しない。

(b)「団結力」は“solidarity”“unity”“union”“combination”などいろいろな単語が考えられるが、なるべく広く認める。「養う」も文脈で意味が通れば、他の単語でも認める。たとえば全体で“School excursions will give the students a sense of unity.”などでもよい。「意味合いも含んでいる」は、特に訳さなくてもよい。

⑤最近では、修学旅行で海外に行く学校が増えている。(1 点)

(a)ベストは解答例の“These days, an increasing number of～are～ing...”でほぼ決まりであるが、“Nowadays, more and more schools are...”のように文法的に誤りでなく意味が通るものであれば認める。

⑥全体点 (1点)

- (a)明らかな文法ミスは減点。
- (b)スペリングミスは減点しない。
- (c)その他全体的な印象により加減点。

日本事象英文説明問題

問題 6. 次の事物をそれぞれ英語で説明しなさい。解答の語数は指定しないが、与えられたスペースに必ず収まるようにしなさい。(各 10 点×2=20 点)

模範解答例

(1)お年玉

Otoshidama is money given to children during the New Year. *Otoshidama* serve as “children’s bonuses” supplementing their allowance. Some children even expect *otoshidama* from people outside of the family, causing a big headache to those who want to pay courteously visits, not money during the New Year. (47 words)

(2)風呂敷

A *furoshiki* is a traditional Japanese wrapping cloth. *Furoshiki* come in various sizes, designs, materials and prices. *Furoshiki* are one of the most recommended souvenirs in Japan because of the wide range of choices available. (35 words)

問題文の要求

1. 説明せよ

⇒常識的に「説明」というに値する程度の情報量と情報の質は確保せよ。

2. 解答の語数は自由だが、与えられたスペースに必ず収めよ

⇒この形式的要件を満たさないものは採点対象外 (0 点) と知るべし。

採点基準

①情報量が少なすぎるものは、適宜減点。一方、情報が多い分には、スペースの要件を守っている限りかまわない (つまり、文字を小さく詰めて書くことにより情報量を増やした

答案は OK ということ)。

- ②情報の質としては、明らかに誤った内容でなければ何を書いても OK。
- ③明らかな文法ミス、スペリングミスは減点。
- ④多少不自然な表現でも意味が通じていれば減点しない。
- ⑤全体的なまとまりや印象について、適宜加減点する。

答案作成戦略

- (1)スペース要件を守った上でなら、著しくまとまりを欠いたり、内容的に明らかな誤りを書いたりしない限り、量が多い分には、加点事由になっても減点事由にはならないのだから、文字は小さめで量を多めに書くのが得策である。
- (2)逆に書くことが思いつかなくても、答案用紙のスペースから、情報量の最低基準としては、せいぜい 30 words 程度であると考えられる。これは 3 行程度だから、そんなにたくさん書かなくても基準は満たしているであろう。心配しすぎるのはよくない。
- (3)ただし、内容の薄い英文の量だけを水増しするような答案は避けるべきである。英文説明問題は、採点者の裁量分が多いから、印象を悪くするのはまずい。大して面白い情報でなくてもよいので、なるべく簡潔な中にきっちりと中身が詰まっているような英文を書くことが重要である。
- (4)現場での悩みをミニマイズするため、短文説明の一定のパターンをあらかじめ用意しておき、それに則って最小のエネルギーで答案をまとめ上げるべきである。事前にできることは準備しておくのが効率的というものである。
- (5)文法ミスやスペリングミスは、客観的に判断できるので、最も減点が容易な項目である。厳重にチェックするべきである。
- (6)減点のリスクを最小限にする最良の方法は「平易な構文・表現・単語」を使うことであり、難しい内容の答案を書いても、良いことなど 1 つもないということを認識しておくべきである。

fin

